

よみうりランドで小学校最後の思い出を

3月9日から11日までの3日間、川崎市立小学校在学の6年生を対象に遊園地のよみうりランドが開放されました。

これは新型コロナウイルス感染症の影響で日光への修学旅行が中止になってしまった児童たちに、小学校生活最後の思い出を作ってもらおうと、川崎市と川崎市教育委員会がよみうりランドを貸し切ったもので、3日間で全114校の6年生およそ12,000人が参加しました。

当日は、園内のすべてのアトラクションが乗り放題となった他、川崎市消防局や地元のスポーツチーム、企業によるイベントも行われ、児童たちをもてなしました。

(いろいろなアトラクションを体験したり、イベントに参加している小学6年生の様子が写っています)

また、お昼には修学旅行の食事で提供される予定だった日光カレーがふるまわれ、修学旅行では定番の枕投げを再現したアトラクションなども用意。

(昼食の日光カレーや枕投げのアトラクションを楽しむ小学6年生の様子が写っています)

児童たちは普段とは違う貸し切りの遊園地を大いに楽しみ、卒業を前に、よい思い出となったようです。

(集合写真を撮影している様子が写っています)